

この学校にわたしたち

2023. 12. 21

NO 48

『ひっくりカエル』が大切です

6年生を対象に毎年、全国学力学習状況調査を行います。この調査で学力だけではなく、児童質問紙では生活・興味などについても調査します。自己肯定感に関する項目ではどこの学校も低い（ハツ山小は高い）結果となっており、各学校において自己肯定感を

高めるための取組を行っています。内閣府の調査では「自分に満足しているか」の問いに肯定的な回答をしている児童の割合は日本で45%、アメリカでは86%と

いう結果が出ています。私は自己肯定感が低く、他者と比較して“自分はだめだあ”とすぐに思ってしまいます。教育相談に携わっている大先輩から「カウンセリングをする時は相手の見ている角度ではない見方もあるということに気づいてもらえるようにしなければならない」と教えてもらいました。最近、発刊された本で、知人から紹介された本に『ひっくりカエル』作 安部博志 があります。この本は周囲から理解されずに怒られることが多く、自己肯定感が低い子が多い発達障がいの子に対して「もっと自分を好きになって自信を持ってほしい」との願いをこめて書かれた本です。例えば「泣き虫」は「心が優しい」に、「飽き性」は「頭の切り替えが早い」という風に…。この本は心理学という「リフレーミング」という手法が取り入れられていて大人も子ども、心がほっとする言葉が溢れています。毎日、ネガティブな言葉とニュースが目飛び込んできますが、それらをリフレーミングしていくと自分のこともまわりのことも好きになるかもしれません。（画像は小学館 HP より）



- 9日（火）始業式
- 10日（水）身体・視力測定5・6年
- 11日（木）身体・視力測定2年、3・4年
- 12日（金）身体・視力測定1年
- 15日（月）委員会活動
- 16日（火）食教育1年・2年
- 23日（火）1・2年生美杉小との交流会
- 29日（月）3年生昔のくらし体験（老人会）
- 30日（火）3年社会見学（消防署・警察署）
食教育（4年・5年）
- 31日（水）3・4年居住地交流

2学期にズームを使って交流しました。3学期は美杉小児童がバスで来校して交流をします。

七輪・洗濯板など昔の生活の様子を教えていただきます。